

住人十色

バスケット選手として2年連続国体へ

灘部

裕樹さん(西沖)



◎「スポーツは何でも好き」という灘部さん。他方では、読書好きという一面も。仕事に、趣味に、充実した毎日

「第66回国民体育大会」は10月11日、山口県で開かれ、灘部裕樹さんが愛媛県選抜バスケットボールチーム(成年男子)の一員として前大会に続く二度目の出場を果たしました。

灘部さんは、これまでも数々の全国大会に出場してきた経験の持ち主。現在はスポーツクラブのインストラクターとして勤務する傍ら、松山市内のクラブチームに所属。「バスケットをやっているときに「一番楽しい」と、忙しい仕事の合間をぬって練習に通っています。

中学生のときに部活動として始めたバスケット歴はもう17年。当時は米国のドリムチームに憧れ、「もつと上手くなりたい、勝ちたい」と、常に上を目指して練習を続けてきたといいます。バスケット選手としては小柄な身長をカバーするため、ひたすらジャンプの練習を繰り返した時期もあるとか。今では、ジャンプ力は灘部さんの持ち味のひとつになっています。

ひたむきに、真つすぐに。「頑張ったら頑張っただけ返ってくるものがある。だから楽しい」と灘部さん。「どんなことも楽しむ気持ちを持って挑戦したい」と語る姿が印象的です。

編集 幸記

内子町中学校英語弁論大会取材しました。どの発表もよく練習されていて、素晴らしい内容のものばかりでした。大勢の前で、自分の意見を堂々と話す中学生たちの姿を、自分も見習いたいと思います。(琢)

先月、紅葉の見頃予報が発表されました。9月下旬まで気温が高かった影響で色付きは遅れるところが多いものの、例年通りの鮮やかさが期待できそうとのこと。カメラを持って出かけるのが楽しみです(み)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

